

講義：大坂城の最新研究 市川創先生

2021年12月10日(金)午前10-12時、於：豊中市労働会館3F

大坂城の最新研究と題して、大阪府教育庁文化財保護課主査兼大手前大学非常勤講師の市川創先生に以下の内容で講義頂いた。

- 1、はじめに
- 2、重なる2つの大坂城
- 3、発掘された豊臣期大坂城の遺構
(1) 謎の石垣 (2) 詰ノ丸石垣 (3) 芦田曲輪での石組溝 (4) 山里曲輪での石組溝
- 4、豊臣期大坂城の遺物(特に瓦)
- 5、徳川期の大坂城
- 6、まとめと展望

1、はじめに

当時、大坂は、日本史の画期に主要な舞台となり、大坂城は大坂のシンボルであった。

大坂城は、豊臣/徳川両政権の主要城郭として同じ場所に築かれ、特別史跡に指定された。

史跡保存のため、発掘は制限される。



講師の市川先生

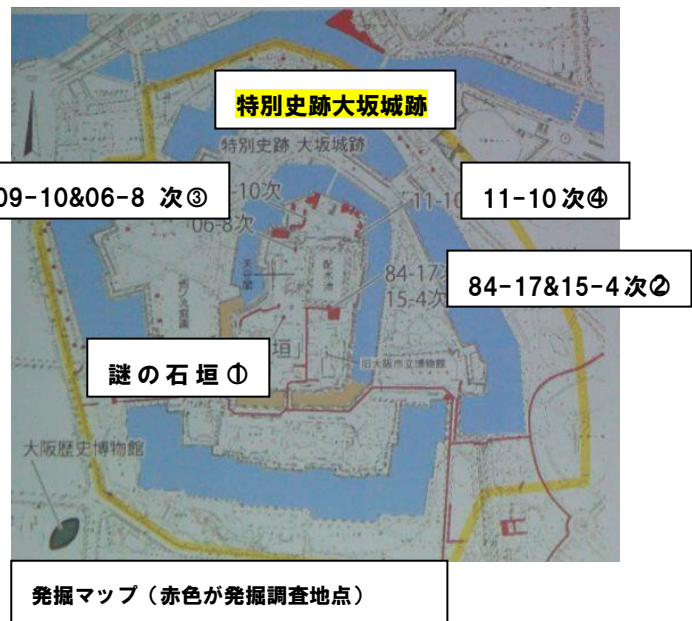
2、重なる2つの大坂城

豊臣期大坂城: 1958年羽柴秀吉が大坂本願寺跡地に建設開始。1614年大坂夏の陣で陥落、炎上。

徳川期大坂城: 徳川秀忠が豊臣期大坂城を徹底的に地下に埋めて、1620年から再築。

3、豊臣期大坂城の遺構。発掘調査成果は、以下の4地点

- (1) 謎の石垣(大阪城総合学術調査) 詰ノ丸と中ノ段を繋ぐ石垣
- (2) 詰ノ丸石垣
- (3) 山里丸(芦田曲輪)での石組溝
- (4) 山里丸(山里曲輪)での石組溝



(1) 謎の石垣(大阪城総合学術調査)

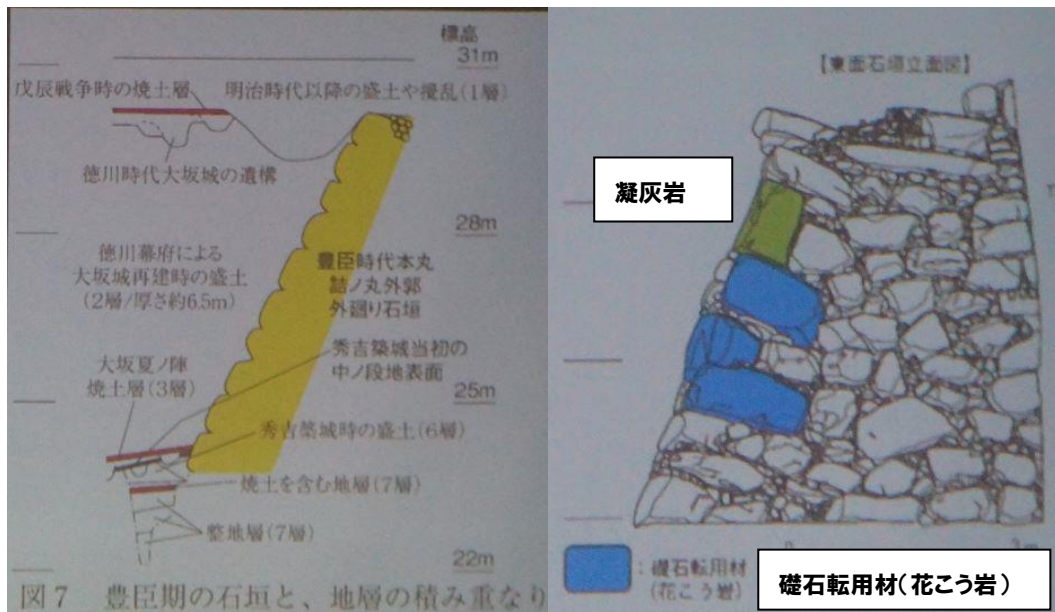
詰ノ丸と中ノ段を繋ぐ石垣

高さ 4.7m以上、花崗岩を主体とし斑レイ岩を含む。中井家本丸図(豊臣時代の本丸設計図もしくは測量図)での位置決定。



(2) 詰ノ丸石垣

詰ノ丸東南隅、高さ 5.7m、花こう岩を主体とするも砂岩、緑泥片岩、安山岩の他に転用石を含む。中井家本丸図での位置決定。



京嶋覚 2016

(3) 山里丸(芦田曲輪)の地表下 4.5mに豊臣期地面と石組溝確認

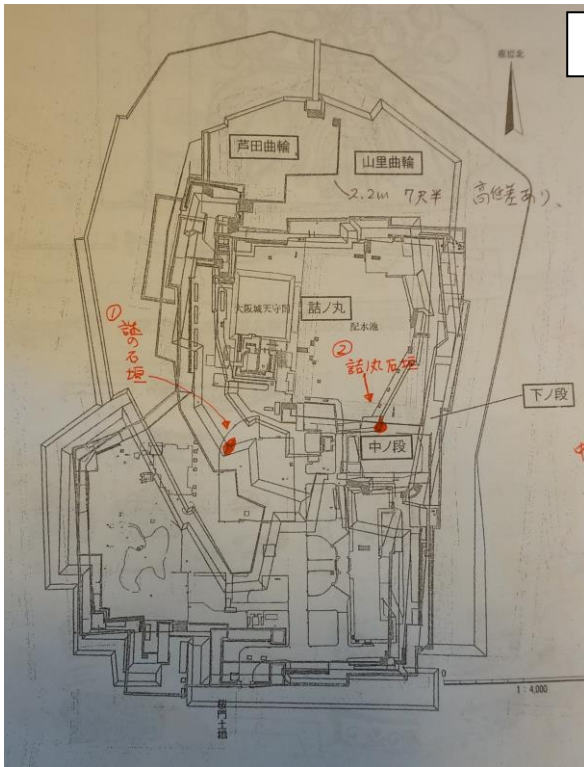
(4) 山里丸(山里曲輪)で地表下 2m に豊臣期の遺構面と礎石を確認。金箔瓦も出土。

(3) 蘆田曲輪



大庭重信 2010

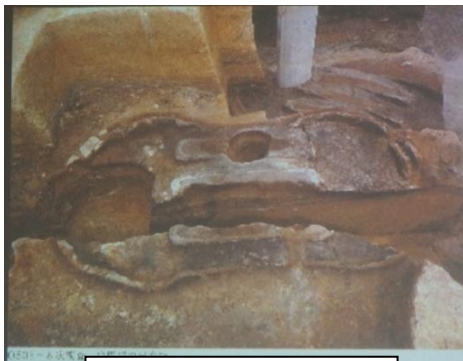
重ね図(豊臣期本丸と徳川期本丸) (1)謎の石垣及び(2)詰ノ丸石垣。



市川創他 2019

4. 豊臣期大坂城の遺物(特に瓦)生産遺構として9基の達磨窯を確認、写真は8号窯。桐紋の木製范(型)も発見。(中央区和泉町)

5. 徳川期の大坂城の遺構として、集水枡が江戸時代絵図の「沙留」と記載された場所に一致して発見された。



達磨窯 (8号)
大阪市文化財協会

6. まとめと展望

発掘調査は確実に情報量も多いが、破壊でもある。調査欲求と保護責務の間で、保護に重点を置いたバランス良い方針が必要。ボーリング調査や破壊の無い電気探査、表面波探査は有効。

以上